

レジリエント社会実現に資する映像IoT技術 ～ レジリエントICT技術開発 ～

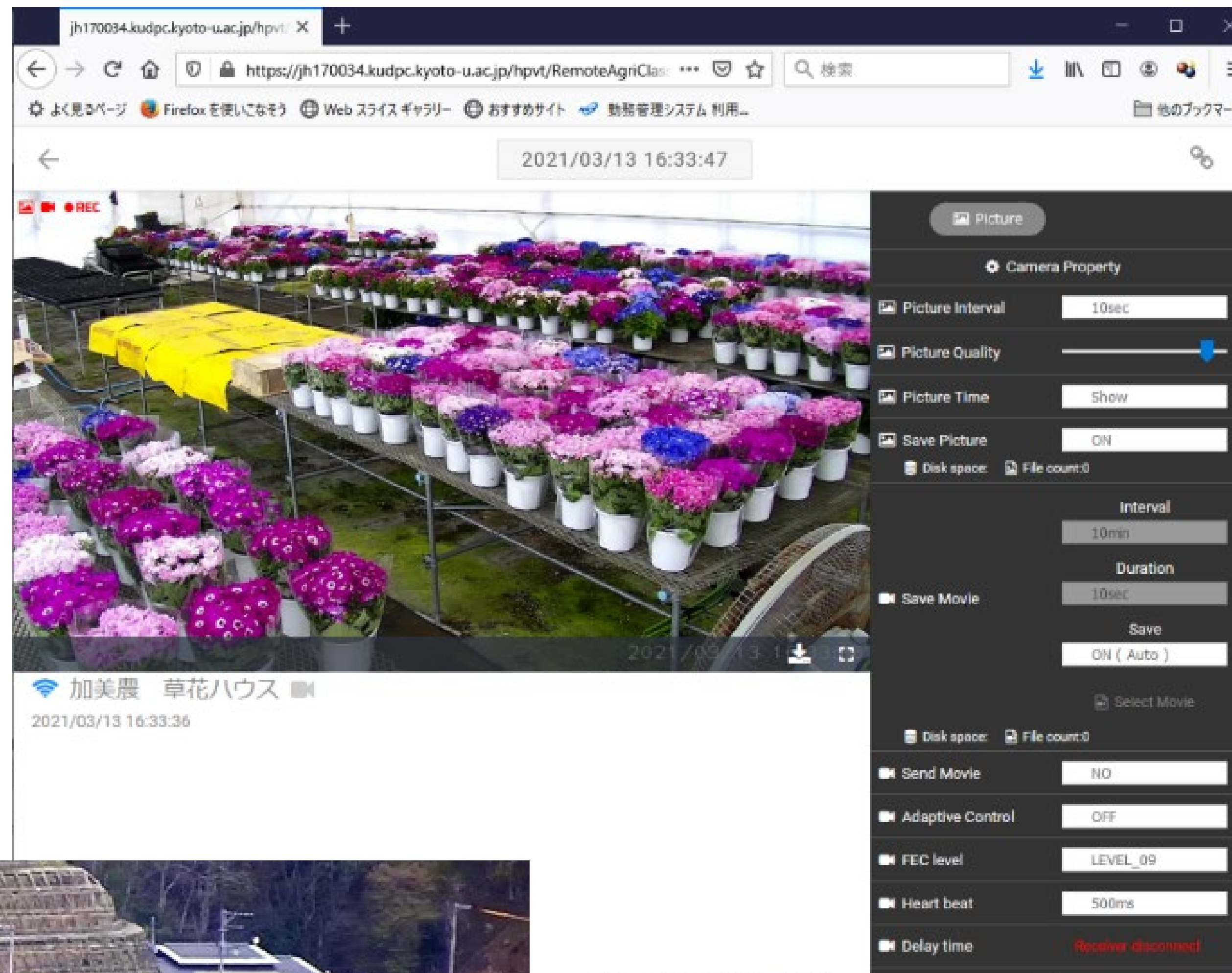
概要

NICTでは、モバイル通信環境で低遅延で高品質な映像伝送を可能とする映像IoT技術を開発し、国内外の様々な個所に映像IoTデバイスを展開しております。映像取得事例を通じてレジリエント社会実現に資する映像IoT技術をご紹介します。

PTZカメラ

宮城県立加美農業高校における 遠隔農業実習

遠隔カメラや気象センサーを用いて作物の育成状況や気象データを遠隔から観測しています。



宮城県女川町における 国道渋滞状況モニタリング

遠隔カメラを用いた道路状況のモニタリングやAIによる物体検知アルゴリズムを活用して車両数推定や速度検知の研究開発を行っています。



【その他の設置場所】高知県（高知市、須崎市、黒潮町）、長野県（千曲市）、東京都（西東京市）、静岡県（御殿場市）
北海道（江別市）、タイ（バンコク、チェンマイ）、フィリピン（マニラ）など

技術の特徴

- モバイル通信環境で低遅延（500ms以内）高品質（1080p以上）の映像伝送を可能とする映像IoT技術
- 映像IoT技術とAI処理・画像処理の融合による映像からの情報抽出

今後の展開

- 火山モニタリング、不審船監視、津波監視、都市災害（火事）検知など、幅広いテーマでレジリエント社会の実現を目指します。

活用例

- AIを用いた物体検知アルゴリズムによる国道渋滞状況モニタリング（車両数カウント）
- 農業高校における遠隔農業実習（暗黙知伝達）

ニューノーマル社会関連

- 映像IoTによる遠隔実習など非接触型の教育や産業及び防災技術の高度化などニューノーマル社会に貢献します。